

平成30年度 第1回函南町立図書館協議会 議事録

1 日 時 平成30年5月22日(火) 13時15分～14時30分

2 会 場 函南町立図書館 2階 研修室

3 出席者 会長 石田 和久 学識経験者
副会長 稲葉 優子 家庭教育活動者
委員 齋藤 修 学校教育関係者
富永 和彦 学識経験者
今泉 良三 社会教育関係者
榎本 政夫 社会教育関係者
事務局 渡辺 正樹
牧野 満枝

4 公開・非公開 公開
の 別

5 傍聴人の数 0人

6 内 容

(1) 開会

(2) あいさつ 渡辺生涯学習課長

(3) 報告事項

(1) 平成29年度事業報告

- ・平成29年度函南町立図書館利用状況について
- ・平成29年度末蔵書数について
- ・平成29年度実施業について
- ・読書記録ノートについて

(4) 協議事項

(1) 平成30年度事業計画

- ・新規事業 他機関との連携事業について
- ・「第三次函南町こどもの読書活動推進計画」について

(2) その他図書館事業全般について

各委員から出されたご意見

委員 図書館利用の統計資料についてですが、来館者数と利用者数とは異なるとの説明でした。来館者数は、本を借りなくても図書館に入ってきた人数との解釈でよいでしょうか。とすると来館者人数の方が多くなるということでしょうか。

事務局 委員がおっしゃるとおり、来館者数には、新聞雑誌のみ見にいらっしゃる方、高校生等の学習利用の方、委員の皆様のように会議室利用の方など、図書館に入館された方全てが含まれます。通常の方は来館者数の方が多くなりますが、蔵書点検があり長期間図書館が休館となる2月などは、入館者数よりも貸出利用者数の方が多くなることもあります。

また、前回の委員から頂いたご意見に、統計資料中、利用人数・利用冊数の

年齢区分にある60歳以上のひとまとまりを、もう少し細かく表示(60-65、65-70、70以上など)できないか。とありました。システム業者に相談したところ、区分できる項目数が決まっているため、増やせないとの回答でしたのでご了承願います。

議長 平成30年度事業計画は、今まで行っていた事業は継続実施し、新規事業として、知恵の和館全体を利用し、他機関と連携した協働事業を行っていく。とのことでした。皆さんのご意見をいただきたい。

委員 図書館が午後8時まで開館している水曜日の夜時間を利用して、大人対象の夜のおはなし会を開催したいとの話が、読書ボランティアやアドバイザーから出ている。今年度7月くらいに一度開催できないか。

事務局 前回の協議会においても委員からそのお話はいただいていたのですが、読書ボランティアやアドバイザーの皆さんには、報酬の用意もなく、さらに本年度、読書アドバイザーさんには、「子どもの読書活動推進計画」策定会議にも出席していただきたく考えている。さらに夜の時間にボランティアで来ていただく事業を行うのは申し訳ない。というのが、事務局の意見でした。

7月実施となると、広報かなみにも間に合わない。事前周知がしっかりとできないのは、もったいないと感ずるので、8月夏休み中の実施ではどうか。

委員 読書アドバイザーは、小中学校の子供がいるものも多いため、夏休みはできたら実施を控えたい。まず、1回実施してみたら如何かと思う。

事務局 年配の方達は、自分で読むことが大変な方達も多い。朗読なら参加したい高齢者はたくさんいると思う。図書館としては、夜だけでなく昼間の大人の朗読会があっても良いと考えている。

委員 昼間は、仕事をしているボランティアが多いので、今回は夜の実施を考えている。20分ものを2本くらいやりたいと考えている。

委員 朗読会については、図書館活動事業として大変有効なものだと思うし、これから需要は増してくると思う。

事務局 7月実施となると、広報かなみには間に合わないので、館内ちらしや口コミとなってしまうことと、ボランティアとして実施していただくため、当局はお手伝いという形になる。それでも実施しようと、ボランティアさん達の意見がまとまりましたら、話を事務局と煮詰めていきたいと思います。

議長 内容については町の方でも検討していただき、ボランティアさんと共に実施計画を立てていってください。

委員 小・中学校の図書館見学会を何年間か実施してきて、昨年度から幼稚園親子図書館見学会に広げた。そして本年度保育園にまで図書館見学会を広げたことは、大変良いと感ずる。また、保育園の保護者は働いているため、保護者の出席については、強制しないという方針も良いと思う。保育園の見学会の反応や様子を聞きたい。

事務局 資料4に幼稚園親子・保育園図書館見学会日程一覧を添付してありますが、保育園図書館見学会は、6月以降の実施予定となっています。また、実施後はアンケート等取りまますので、委員の皆様には報告させていただきます。

委員 新規事業として計画のあがっている、夏の高校生との協働事業についても新しい試みであり、素晴らしい事業だと思う。委員の中に社会教育委員が私ともう一人入っている。社会教育施設として、美術館と図書館がある。函南町の図書館は、複合施設ですので、ブックスタートに始まり、幼稚園、保育園、小中学校連携、さらに高校生にまで事業を上げたことは、大変良いし素晴らしいと感じた。また、今回高校生との連携事業として英語絵本の読み聞かせ等も取り入れている。田方の社会教育委員会の研修会においても、当町の図書館の特徴的な取り組み・活動について紹介したいと考えている。

当図書館のデータベースを利用した研修会などは、中学生に行っているのでしょうか。

事務局 中・高校生の職場体験の日程には、データベースを利用した調べ学習を取り入れて行っています。

議長 新規事業については、いろいろな機関と連携して行う。ということが、大変有効であると感じる。ぜひ進めていただきたい。

議長 「第三次函南町こどもの読書活動推進計画」についての説明がありました。アンケートは、6月実施となり対象者については、提案どおりでよろしいでしょうか。

事務局 対象者については、前回計画時と同一としてあります。

議長 計画策定スケジュールについては、1年間で策定印刷まで行うため、様々な検討会議が入ってきている。アンケート項目については、前回調査を踏襲し加えられた項目がある。小学校については、SNS、メールなどについての質問項目や電子書籍に関する項目である。ご意見を伺いたい。

委員 CD、DVDを図書館で視聴する時には、音についてはどうしているのか。ヘッドホンを貸し出しているのか。

事務局 CD、DVD視聴のおりには、利用者さんには図書館のヘッドホンごと貸し出しています。

委員 電子書籍利用についての質問ですが、スマホを使用した調べもの、地図や料理メニュー閲覧などは、入りますか。

事務局 電子書籍は、本・書物・図書・雑誌・まんが等たくさんの種類が入りますが、今回のアンケートでは、漫画・雑誌・新聞・教科書・学習参考書は除いています。インターネット検索の調べものとは、異なります。電子書籍については、近隣では熱海市さんが、電子書籍導入を考えているとのこと。

委員 電子書籍とは、誰かが借りていると借りられないのか。何を使用して視聴するのか。

事務局 利用者個人のパソコン、スマホ、タブレットを利用することができます。図書館に来館しなくても、利用ができます。誰かが借りている場合は、貸出中に表示されます。浜松市は、多文化共生を推進しているので、外国語図書が豊富なサービスをしています。磐田市図書館でも電子書籍サービスを始めています。

議長 三次計画は、二次計画を引き継ぎつつ、国・県・上位計画と整合性を図り、

ながら、アンケートにより現状把握を行い、アンケート結果のまとめ・分析素案を作成していくこととなる。という流れでした。当委員会では、11月にアンケート結果の分析及び素案の説明を受けることとなる。

事務局 アンケート結果の集計、分析、素案作成は、業者委託しないで職員の手作りとなります。ご意見よろしくお願ひします。

委員 前回アンケートにもない項目ですが、書店と公共図書館の関係を書店からの購入数等により、調べることはできないか。社会的にも町の本屋さんが無くなることは、大きくとりあげられている。

事務局 町の本屋さんが無くなっている。という件ですが本の購入はするが、インターネット購入の方達が増えている。というのも大きな要因にあるようです。また、ベストセラー本についての複本は、10人以上の予約がつくと2冊目を購入するようにしています。ベストセラー本は一過性のものもあるため、購入は2冊までとしています。また、CD・DVDの購入についても近隣にレンタル店等ありますので、娯楽性の高いものは購入を控えています。

議長 アンケートの中に行政が求めているものが盛り込まれていれば良い。後日になっても、気がつたことがあったら事務局に連絡願ひたい。

委員 学校としては、図書館が事業を工夫してくれていてありがたいと感ずる。学校では、今日的課題、学習指導要領改訂に向かつての課題を抱えているので、うまく整理しながら連携していけたらよいと考えている。また、函南の図書館は、大変すばらしい施設なので、活用の仕方を良い方向に共に考えていきたい。

委員 読書アドバイザーとも連携した事業をぜひ実現してもらいたい。

委員 高齢女性の図書館利用者数が低いと感じている。高齢男性の利用者は、たくさん見かけるが高齢女性の図書館利用者を見かけない。今後の課題の一つとして、捉えていただきたい。

委員 西部コミュニティーの中の図書室を時々利用しているが、ほとんど人がいない。道の駅も近くなつたし、活用方法があればよいと感じている。

委員 文化協会の加盟団体の中で文学系が少ない。周辺市町と比較しても少なく、現在エッセイと短歌1つずつである。朗読サークルも減っている。図書館の「文芸函南」の募集・作製等を通して、増えていくことを期待したい。

議長 たくさんのご意見をいただき、ありがとうございます。これで事務局にお返しします。

事務局 本日は、たくさんのご貴重ご意見ありがとうございました。いただいたご意見は、今後の事業に活かしていきます。今後ともご協力のほどよろしくお願ひいたします。

次回開催は、11月7日頃を予定しております。日程が決まりましたら改めて通知させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

(5) 閉会